

参考様式

建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書（住宅・標準計算）

（第一面）

年 月 日

一般財団法人 長野県建築住宅センター  
理事長 矢澤 博 様

申請者氏名

申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画について、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律施行規則第5条に該当する軽微な変更がありましたので、変更の内容を報告します。

(1) 建築物等の名称	
(2) 建築物等の所在地	
(3) 省エネ適合判定年月日・番号	
(4) 変更の内容	
<input type="checkbox"/> A エネルギー消費性能を向上させる変更又は当該性能に影響しないことが明らかな変更	
<input type="checkbox"/> B 一定以上のエネルギー消費性能を有する建築物について、一定範囲内でエネルギー消費性能を低下させる変更	
<input type="checkbox"/> C 建築物のエネルギー消費性能に係る計算により、省エネ基準に適合することが明らかな変更	
(5) 備考	
(注意) 1. この説明書は、完了検査申請の際に、申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画に軽微な変更があった場合に、完了検査申請書の第三面の別紙として添付してください。 2. (4) 変更の内容において、Aにチェックした場合には第二面に、Bにチェックした場合は第三面に必要事項を記入した上で、変更内容を説明するための図書を添付してください。Cにチェックした場合には軽微変更該当証明書及びその申請に要した図書を添付してください。	受付欄



(第三面)

[B 一定以上のエネルギー消費性能を有する建築物について、一定範囲内でエネルギー消費性能を低下させる変更]

・変更前の BEI= ( ) ≤ 0.9
・変更内容は、①または②に該当する変更となる
<input type="checkbox"/> ① 床面積
主たる居室、その他の居室又は非居室の床面積について、それぞれ 10%を超えない増減 (それぞれの床面積及び構成比を明確にしてください)
<input type="checkbox"/> ② 外皮に係る変更
外皮面積の合計に変更がなく、変更前の外皮平均熱貫流率 $U_A$ 、冷房期の平均日射熱取得率 $\eta_{AC}$ が、基準値の 0.9 倍以下の場合に、以下のいずれか（同時に二以上の変更を行う場合を除く。）に該当し、これ以外の事項についてエネルギー消費性能が低下しない変更。  【変更前の $U_A$ 値 = ( ) ≤ ( ) × 0.9、 変更前の $\eta_{AC}$ 値 = ( ) ≤ ( ) × 0.9】
<input type="checkbox"/> 開口部の面積増加分が外皮面積の合計の 1/200 を超えない変更 <input type="checkbox"/> 変更する開口部面積が外皮面積の合計の 1/200 を超えない場合の断熱性能、日射遮蔽性能もしくはその両方が低下する変更又は日射遮蔽部材をなくす変更 <input type="checkbox"/> 変更する外皮の面積の合計が外皮面積の合計の 1/100 を超えない場合の開口部以外の外皮の断熱性能が低下する変更 <input type="checkbox"/> 基礎断熱の基礎形状等の変更
・上記 <input type="checkbox"/> チェックについて具体的な変更の記載欄
・添付図書等
(注意) 変更内容は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした事項については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。